

DF ちば 千葉 こず え 梢恵 選手(25歳)

●インテリアコーナー担当●

ホームセンターのダイシン幸町店。水色のシャツに茶色のエプロンとチノパンという颯爽としたいでたちで、品出しや接客、そしてレジにと、忙しく立ち働く。

担当はインテリアコーナー。商品の案内はもちろん、買い物客の要望に応じてカーテンやブラインドのオーダーを取ったりもする。3年目を迎え、だいぶ慣れてはきたが、時には失敗もあるとか。「ブラインドの縦と横のサイズを、私の確認不足で、ご注文とは逆にしてしまったため、そのまま出来てきたことが…」と、恥ずかしそうに首をすくめる。

それでも最近、担当が別の従業員から「千葉さん、お願いします」とインテリアについて尋ねられることも多く、「ちょっとは店の力になってるかなと感じるようになりました」とほほ笑む。接客中に「ベガルタの選手だよ」と声を掛けられる場面が多いのも嬉しい。「応援してくれている人がいる、頑張らなきゃ、という気持ちになります」

同じ職場だった高良亮子選手が今春、ノルウェーのクラブに移籍した。「高良さんは文具担当でしたが、困った時にお互いに呼び合って、協力して仕事をする事も多かったのだ」と、この時ばかりはちょっと寂しそう。

●オフはもっぱら外出です●

大学(早大)時代を除けば、生まれも育ちもずっと仙台という、チーム内では数少ない地元っ子。現在も青葉区内の実家で家族と一緒に暮らす。栄養バランスを考えた食事を作ってくれる母親には、感謝してもきれない。チームメートを自宅に呼んで一緒に食事することも多い。半面、「おいしいお店とか、いいカフェとかは、周りのみんなから教わることが多いですね。県外から来ているの方がいろいろ調べるんじゃないですか?」。

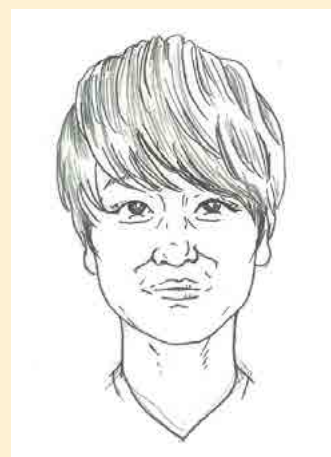
ひたむきにサッカーに取り組む選手の皆さんの、職場での姿やオフの過ごし方など、素顔の一端を紹介する「ふだん着の織姫たち」シリーズ。今季第2弾はDF千葉梢恵選手(背番号2)の登場です。

オフの日は「あんまり家には居られないタイプ。時間を無駄にしたくなくて、早めに外出します。一人で街に出て、アーケードを歩いたり買い物したりする活動派だ。「(オフの)月曜がレディースデーの映画館にもよく行きます。事件系で、犯人が予想外の人だったりするハラハラドキドキの”どんでん返しもの”が好き」といった一面も。

ショッピングは洋服がメイン。特にこだわっているブランドなどはなく「着たい物を着るっていう感じですが、基本、メンズしか着ません。Tシャツにジャケットとか」と白い歯を見せる笑顔には、確かにメンズファッションがよく似合う。

●精度の高いロングキック●

プレーの持ち味は精度の高いロングキック。センターバックは競争が激しく、先発フル出場する



試合もあれば、ベンチを温める日もある。今年の目標を尋ねると「チームとして優勝するっていうことが一番ですが」と前置きした上で、「個人的には、どんな立場でもチームに力を与えられるような選手になることで

す」という答えが返ってきた。

「今まで、自分が試合に出て活躍することが一番だと思っていたんですけど、出ていても出ていなくても、いろんな場面、いろんな状況がある中で自分がどれだけチームに貢献できるかが大切。それを目標に、今年は出来る限りのことをしたいなって思っています」。そう結んだ口元に、芯の強さをのぞかせた。

文：K. Tsuge
イラスト：K. Honma

チ
ー
ム
に
力
を
与
え
ら
れ
る
選
手
に



ベガルタ仙台レディース
後援会通信

2017年 5月27日発行 vol.2
編集・発行 /
ベガルタ仙台レディース後援会 (通算 vol.24)

ホーム開幕戦で来場者にエコバッグをプレゼント

今季ホーム開幕戦(アルビレックス新潟レディース戦)がユアスタで行われた4月2日、ベガルタ仙台レディース後援会は来場者の皆さんに、記念のオリジナルエコバッグをプレゼントしました。

高さ約20cm、幅約26cm、奥行き約8cmのコンパクトな一品。ベガルタ仙台ホームタウン協議会の協賛を得て1,800個を用意し、北ゲートから入場して来るお一人お一人にお配りすると、手にした人たちから「いいね、これ」「ありがとうございます」などと喜ばれました。

後援会では2013年度から毎年、ホーム開幕戦で記念品をお贈りしています。エコバッグは3年連続で、一昨年のシグナルレッド、昨年のベガルタゴールドから、今年は落ち着いた濃紺に色を変え、白で後援会のロゴマークをあしらいました。試合観戦の際のほか、普段の生活でもご活用いただければ幸いです。



▲一人一人にエコバッグをお手渡ししました
今年は落ち着いた濃紺です▶

スポーツ栄養セミナーを開きました

仙台市泉区の仙台白百合女子大学で4月22日、マイナビベガルタ仙台レディースジュニアユース選手とその保護者の方々を対象とした「スポーツ栄養セミナー」が開かれました。



▲真剣な表情で栄養の大切さを学ぶジュニアユースの選手たち

(株)ベガルタ仙台、仙台白百合女子大学、ベガルタ仙台レディース後援会の3者共催によるセミナーには、選手、保護者合わせて41人が参加。スポーツ栄養のセミナーのほか、選手のIn Body(体組成)計測とその結果解説、バランスの取れたお弁当の試食など、盛りだくさんのプログラムで行われました。

参加者からは「スポーツをする上で食事がとても大切なことが分かりました」といった感想や「これからはご飯の量を増やして、食事ですっかりエネルギーを取ります」との決意が寄せられました。

このセミナーは7月にも開かれる予定です。中学生年代に当たるジュニアユースの選手たちには、トレーニングと食事で基礎体力をしっかりとつけ、未来の女子サッカーを支える存在になってほしいですね。後援会としても応援していきます。

「こどもの日」を前に、ベガルタかぶと作り

「こどもの日」を前にした5月3日の第6節日テレ・ベレーザ戦(ユアスタ)の試合前、ベガルタ仙台レディース後援会はブースの一角に「ベガルタかぶと」作りのコーナーを設け、来場した子どもから大人まで、たくさんの皆さんに楽しんでいただきました。

トップチームの市民後援会とのコラボ事業で、ベガルタゴールドとブルーを基調としたオリジナルデザインのかぶと用紙を200枚余り用意しました。「ベガルタかぶと、作っていきませんか?」と呼び掛けると、小さなお子さんはもちろん、お父さんやお母さんたちも興味津々。55cm四方という大きな折り紙を手に取り、かぶと作りにチャレンジしていました。

今年用の紙には折り方の手順も印刷されていましたが、後援会メンバーが一つ一つ説明しながら一緒に作業。苦心の末に完成させたかぶとをその場でかぶった子どもたちの表情

は、皆とても嬉しそう。大人の皆さんも試合前のひととき、童心に帰っていました。



▲「次はこうかな?」とベガルタかぶと作りに挑戦する子どもたち

「クリスマス誕生祭」に参加しました

ベガルタ仙台レディース後援会は3月25日、仙台市青葉区中央2丁目のクリスマスロード商店街で開かれた「クリスマス誕生祭」にブースを設け、ホーム開幕戦(ユアスタ、アルビレックス新潟レディース戦)のPRなどを行いました。

土曜日のお昼どきとあって、アーケード街は買い物客などでいっぱい。参加した後援会役員は「4月2日、ホーム開幕戦です。ぜひ応援よろしくお祈りしま〜す!」と呼び掛けました。

グッズ販売を行うベガルタ仙台のブースに駆け付けたMF入江未希、MF佐々木美和、FW本多由佳、GK鈴木あぐりの4選手も一緒に、大きな声で「試合、見に来てくださ〜い!」と通行人に来場を促すと、足を止めて握手やサインを求める人も。

ブースではまた、後援会活動の紹介の一端として、選手に年数回お届けしている「白百合まごころ弁当」のパネルを展示したほか、入会の申し込みや更新の手続きも受け付けました。

「誕生祭」は、現在のアーケードが1992年3月に完成したのを記念して、クリスマスロード商店街振興組合が毎年開催。今年は25周年という節目に当たり、シンガー・ソングライターのティナ・カーリーナさんの路上ライブやベガルタチアリーダーズのパフォーマンス披露、ワゴンセール、熊本県の益城町を中心とした物産展など、さまざまなイベントが繰り広げられました。



◀ 買い物客の皆さんにホーム開幕戦への来場を呼び掛けた後援会役員

ともに応援しましょう(後援会入会のご案内)

私たちベガルタ仙台レディース後援会は、マイナビベガルタ仙台レディースを応援し、さまざまな支援活動を通してスポーツ文化振興及び地域、社会の発展に寄与することを目的として設立いたしました。

宮城を元気にしてくれるチームの活躍に感謝し、ともに応援しましょう。あなたのご入会をお待ちしています。



開門前の準備作業に余念がない後援会の役員やスタッフ
=4月2日のアルビレックス新潟レディース戦▶

ホームゲーム会場の
後援会ブースで
受付をしています。

- 入会金 / 3,000円(初回のみ)
- 年会費 / 1口 2,000円(何口でも)
- 入会特典 / 後援会オリジナルTシャツ、後援会オリジナルバッジ

☆入会時は入会金と年会費を合わせた金額をお支払いください。(更新時は年会費のみ)
☆2017年度会期は2018年1月31日までです。☆入会時に会員証をお渡しいたします。

会員継続・更新手続きのお願い

平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。発足以来、660名の皆様にご入会いただき、そのご支援が大きな支えとなっておりますことを、心より御礼申し上げます。

ベガルタ仙台レディース後援会は、会員一人一人が作り上げる組織です。まだ2017年度の更新をされていない会員の皆様は、更新の手続きを行っていただき、引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2017年度の会期は、2017年2月1日～2018年1月31日です。

会員更新手続きは、以下の通りです。

- ☆ホームゲームの際に、後援会ブースで簡単に更新手続きができます。
後援会ブースは開場から試合開始15分前まで開設しています。
- ☆郵便振替での更新手続き方法【青色で印刷された振込取扱票をご使用ください】
振込先：ベガルタ仙台レディース後援会 口座記号番号：02270-0-112505
通信欄：1) 会員番号 2) Eメールアドレス (変更があった場合のみ)
会費：一口2,000円以上、何口でも結構です。
- ☆更新の際に本年度バージョンの「後援会オリジナルバッジ」(写真右)を進呈いたします。

